

天理教由利分教会
郵便番号 015-0862
由利本荘市小人町 159
電話 0184-22-0707
FAX 0184-22-1235
yurisoudan.13@gmail.com

由利

立教188年 令和7年

8月号



R188 夏の子どもおぢばがえり

1ヶ月間の主な歩み

七月

- 一九日 北蒲原分教会月次祭
- 二二日 大教会月次祭
- 二六日 御本部月次祭、由利婦人会
- 二七〜二九日 大教会役員当番
- 二九日 子どもおぢばがえり(8/1)
- 三〇日 今野マキ子刀自一年祭

八月

- 三日 支部例会
- 五日 お願いづとめ
- 七日 おさづけ取次日
- 一〇日 墓掃除
- 十一日 雄物川分教会年祭
- 一二日 会長相談会
- 一三日 由利分教会月次祭

今月の言葉

由利分教会長

佐々木 正 明

今月の言葉は、天理教青年会発行の“たすけ一条に生きる”という本の中の一編、本芝房分教会二代会長夫人、谷澤松子先生の掲載文を紹介させて頂きます。

本芝房分教会という名前を、皆様方の中では初めて聞く人も多いかと思いますが、現在のお道では愛町分教会は別格として、その次に勢いのある教会として本教でも有名な教会です。中川よし先生が初代の東本大教会の系統に繋がる教会ですが、毎月の月次祭の参拝者が千名以上の事です。

初参拝者をつくる

Q—どのような経緯で、教会に人が寄るようになったのですか？

初代会長と二代会長である主人は、本理世の御用に努めきり、会長夫人の母と私が「夫婦仲第一」を芯にしてにをいがけ・おたすけに励む。そんな中から一人また一人と、人がついてきてくれるようになりました。やがて、住み込みさんをお与えいただき、今度はその人たちが、別の人を連れて来るようになったのです。普段から住み込みさんに、「おたすけの相手を持ちましょう。そして、お連れした人を通して、自分が心の勉強をするんですよ。」と話していたので、私の喜ぶ姿を見るために、みんな勇んで新しい人を連れてくるようになりました。そのうちに、初代会長より「もう外歩きの布教に出ないで、この教会に来る人のおたすけに専念しなさい」と言われるようになり、私は拝殿で教会に来る人の悩みを聞き、お話を取り次ぐようになったのです。教祖は、「喜ばさずには帰されん」とおっしゃったので、私も初代会長と同様に「この本芝房の

門をくぐった人は、喜ばさずには帰されん」という気持ちでおたすけにあたりました。

特に、私は「初参拝者をつくる」ことに力を入れました。いくら布教をしても、「ただパンフレットを配ればいい」というやり方では、なかなかをいはかりません。やはり、「何としても教会へお連れするんだ」という気持ちが必要です。

初参拝者の方には、住所・氏名・年齢を「初参拝カード」に書いてもらいます。そして、そのカードの裏には、その方の話を聞いて「どういう人か」「どんな悩みを抱えているか」など、だいたい概略を書き込んでおく。そうすることで、次に来られたときに前回のおたすけの続きができるし、きめ細かい丹精をする上での土台にもなります。これは、教祖九十年祭の頃から始めたもので、今ではカードをとじた台帳が何十冊にもなっています。これこそ本芝房の宝です。

(次号につづく)

立教一八八年ごどもおちばがえり

由利隊参加!

恒例の夏のこどもおちばがえりに、七月二十九日から八月一日まで由利隊として参加させて頂きました。

二十九日の朝、秋田を出発し、その日の夕食は天理名物である彩華ラーメンを食べました。



翌三十日は様々なおちばの行事に参加させて頂き、特に今年リニューアルされたショパンのミラクル大冒険(お化け屋敷)は素晴らしい内容でした。またおもちゃやゲームなど無くても詰所でも楽しそうに遊ぶ子ども達が印象的でした。

三十一日は大阪にあるユニバーサルスタジオ・ジャ・パンに行きました。開園から閉園近くまで悔いのないように遊び尽くしました。

おちばの温かい雰囲気にもまれて楽しい夏の思い出をたくさん作る事ができました。また今年初めてこどもおちばがえりに一名の方が参加してくれました。



**さらなる成人の道を求めて
中高年用木の集い”のこれからの動きについて**

これまで中高年用木の集いは、秋田教区主催の活動として実施されてきましたが、今年から当教会独自の活動として存続する事となりました。その用木の集いですが、少し以前の事となりますが、六月六日午後一時半より同中高年用木の集いが当教会で開催されました。

これまで通り講師として大曲分教会前会長、稲毛通明先生と、平根分

教会前会長、佐藤勇悦先生に御参加頂き、兩名の先生の三十分位の基調講話を頂いた後で、練り合いをさせて頂きました。



特に練り合いでは、それぞれ自分の信仰感を述べてこの集いならではの話し合いが出来るように思いたように思いました。

また、当日は平根分教会からも四人位の方々が参加され、参加者の輪が少し広がったように思えました。同講座は、お助けの経験豊かな講師の先生方の講話を(三十分位)聞く事も出来ますし、その後ざつぱらんに信仰についてのお互いの思いを話し合う事も出来て、互いの信仰を深める一助になるような集いではないかと思っております。今後共にお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

9月祭典役割表

神殿講話 雄物川分教会長

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	チャンポン	笛	地方(副)	地方(主)	ておどり										会長	祭主											
											佐々木 めぐみ	小林 理英子	木内 教子	佐々木 由正	小林 大晃	仁 賀保	由利 道	仁 賀保(前)	東 滝 沢	齋藤 清一			亀 田 町	由利 東布	上 之 浜	会 長 夫人	会 長 夫人	矢 島 町	小松 敬子	坐りづとめ	上 之 浜	雄物川	扨者
											齋藤 美和子	小川 道子	中村 柳子	齋藤 清一	桑 原 廣	小林 大晃	豊 島 優	齋藤 賢爾	佐々木 由正	佐々木 義實			佐々木 由正	由利 東布	仁 賀保	東 滝 沢	伊藤 奈律子	松田 理奈	木内 美歩	前 半	佐々木 由明	小林 大晃	賛者
											豊島 絢子	豊島 末子	小川 昭子	小 川 心	小野 繁樹	仁 賀保	桑 原 廣	佐々木 義實	小林 大晃	豊島 栄二			由利 東布	豊 島 優	利 翔 布	佐々木 由正	佐々木 良美	佐々木 素子	小川 貴美子	後 半	東 滝 沢	指図方	

開扉・献饌の男子の方は**十時**まで、女子の方は、**十時二十分**までおつとめ着を着用し、神殿にご集合下さい。

部内だより

矢島町分教会

矢浪布教所の信者さんが、初席と二席目を運ばれました。
子供おぢば帰りに、大人一名子供一名参加しました。由利隊にお世話になり大喜びでした。

利の宮分教会

七月二十六日、二十七日夏の子供おぢば帰りに、佐々木喜謙、雅子、陽咲参拝させて頂きました。